

しゃきよう
「社協」は、みなさんの参加とささえあいで、地域福祉をすすめる福祉団体です。

Y ホームページアドレス Y
<http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/shakyo/>



編集・発行 季刊

社会福祉法人
横須賀市
社会福祉協議会
〒238-0041
横須賀市本町2-1
TEL. 046-824-3435
046-821-1301
FAX. 046-827-0264

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします。

10月1日(火)から共同募金が始まります。横須賀市では10月の赤い羽根共同募金と12月の年末たすけあい募金を合わせ、共同募金として、2つの募金を10月に1回でおこなっています。



街頭募金活動の様子



みなさまの
温かい気持ち
をお願いします。

フッピーも
応援しています!!



みなさまからの募金は社会福祉施設や地域作業所に配分され、お年寄りや障害のある方、子どもたちをサポートしています。また、各地区社会福祉協議会を通し、敬老行事・ふれあいきいきサロン・子育てサロンなどに役立てられます。



平成25年度神奈川県共同募金会
オリジナルキャラクターのキリン



共同募金の使途は「はねっと」で公開しています
<http://hanett.akaihane.or.jp/>



『よこすか社協だより』は、みなさまからの賛助会費ならびに共同募金配分金を財源として発行しています。

計画に取り組むのは「わたしたち」&「福祉施設・関係機関」
みんなで進めよう! 第4次 地域福祉活動計画
 〈解説シリーズ第2回〉

計画期間：平成25年4月～平成30年3月

第4次地域福祉活動計画では、各取り組み目標に向かって
 「わたしたち」「福祉施設・関係機関」ができることを挙げています。

基本理念 わたしがつくる みんなでつくる 一人ひとりが“住みやすい”まち 横須賀

基本目標と取り組み目標

人と人とのつながりを大切にしよう

誰もが自分らしく暮らしていくことができるように、多様な支え合いを形にしていこう

ご近所同士仲良くして地域の力を高めよう

③ 地域にはさまざまな人たちがいることを理解し、誤解・偏見のない地域づくりに努めていこう

④ 自分にあった情報を得て役立てよう

住民一人ひとりが参加して
 わがまちの地域福祉を進めよう

身近な地域の福祉活動を進めていこう

さまざまな人々たちを応援できる活動を進めていこう

さまざまな機関・団体・個人が協働して、大きな力を生み出していこう

取り組み目標③

《個別目標》

わたしたちができること

- ① 地域にはさまざまな病気や障害、子育て、介護などの悩みをもつ人たちがいることを理解しよう
- ② さまざまな病気や障害、子育て、介護などの悩みをもつ人々たちを、自分のできることで応援していこう

福祉施設・関係機関ができること

- ① さまざまな病気や障害、子育て、介護などの悩みをもつ人々たちを、専門性や機能を活かして支援していこう
- ② さまざまな病気や障害、子育て、介護などの悩みによって、周囲の理解や支援が必要な人々たちについて、正しく理解できるように伝えていこう

市社協の取り組み方向

☆わたしたちが暮らす地域にある理解・対応されにくい課題への理解の促進と支援の検討

いますぐあなたのまちでも!「活動ヒント集」

- ある集合住宅では、高齢者のいる世帯のゴミを同じ階段の他の住民が持っていつてくれるなどの関係ができています。
- 地域のさりげない見守りや「頑張っていますね」などの応援の声掛けも、介護者支援になるんじゃないかな。

取り組み目標④

《個別目標》

わたしたちができること

- ① 口コミや地域の掲示板のほか、各種広報紙、ホームページなど、さまざまな手段を活用して、自分たちから積極的に必要な情報を集め、活かしていこう
- ② 有益な情報を見つけたら、自分から周りに伝えていこう

福祉施設・関係機関ができること

- ① 地域に福祉施設・関係機関の役割を機能、専門性を伝えていこう
- ② 広報紙、ホームページのほか口コミや地域の掲示板など、さまざまな広報手段を活用しよう

市社協の取り組み方向

☆わたしたちに必要な情報が、必要な時にいつでも得ることのできる仕組みづくり

いますぐあなたのまちでも!「活動ヒント集」

- 自分の住んでいる町内会・自治会がどのような役割をもつてどのようなことに取り組んでいるのかわからない住民もいるため、活動報告をつくって回覧するようにしています。
- 回覧板は読まれないことも多いが、町内の掲示板は通るたびに目に入るため、広報活動には欠かせません。
- 掲示板のほか防犯パトロールの際、子どもたちにチラシを配布するおかげで、町内のクリスマス会には80人も人が来てくれます。

今年も横須賀からみんなの気持ちを乗せて...

よこすか市民ボランティアバス 「フッピー号」を運行しました



朝ドラのロケ地を多くの観光客が訪れるなど、東北から明るい話題が聞かれます。その一方で、現在も復旧作業に人手を求めているところがあります。

今年の夏も、横須賀から82人のボランティアが東北の2ヶ所で活動しました。

● 第1便 宮城県南三陸町 (7月12日～14日) ～復興住宅は3年以上先～

南三陸町は、平地が少なく、入り組んだ地形のため、がれきの処理で大型機械が使えないところが多く、人の手による作業が続いています。



平成の森仮設住宅の皆さんからのメッセージ

地盤沈下で建築許可が出ないため、被害があったところでは、いまだに家が建てられません。また、高台の復興住宅予定地も、土地の手続きが進まず、造成工事が始まるのは3年先といわれています。多くの住民が、仮設住宅から出ることができない状況が続いています。

大きなガレキこそなくなってきましたが、南三陸町の災害ボランティアセンターは、まだ多くのボランティアを必要としています。

南三陸町は、あいにくの小雨でしたが、今年の暑さに悩まされた体には心地よく、いい活動ができました。

横須賀よりはるか遠い、愛知や四国から来たボランティアと一緒に、横須賀のボランティア42人を含め総勢100人で、4ヘクタールの畑の石拾いと草刈りをしました。陸上競技場4つ分の畑に圧倒されましたが、100人力で頑張り通せました。

2日目に訪問した「平成の森仮設住宅」は、自治会ごと全員が一ヶ所に入居したため、震災前の生活がそのまま続いています。家族やご近所がいて、井戸端会議もあり、以前と違うのは、仮設住宅に住んでいること。住民の皆さんの笑顔に逆に元気をもらいました。

● 第2便 岩手県陸前高田市 (8月23日～25日) ～災害支援から復興へ、さらに日常生活支援に～

陸前高田市は、広い範囲で地盤が下がってしまったため、土地のかさ上げ工事に多くの時間が必要となっています。3年目の仮設暮らしは、先の見えない状況が続いています。



地元の方からお話を伺いました

平成24年12月24日、陸前高田市社協が「災害ボランティアセンター」を閉鎖して、通常のボランティアセンターへ機能を戻しました。現在はNPO団体が引き継ぎ、「復興サポートステーション」として陸前高田での災害ボランティアを受け入れています。

第2便には、今年も10人の高校生が参加しました。また、1便に比べて女性のボランティアが多かったことも特徴です。参加した総勢40人のボランティアは、夜通しバスに揺られ明け方に到着しました。

当日の天候は、湿度は低かったのですが、日差しが強く熱中症に注意しながらの活動になりました。

まわりを目をやると、おとしのボラバスで活動した場所の近くでした。そのとき、ガレキの撤去作業をした田んぼには、稲が色付き始めました。これは、試験的に植えられたものです。

今回は、この水田の土手の草刈りをしました。3回目の夏を迎え、多くの人の手伝いあって、こうして実った稲のまわりの草を、ただ黙々と刈っていきます。

稲も、雑草も自然から力をもらって一生懸命生きています。草刈りをしていると、そのことを強く感じます。そして、復興の役に立ちたいと、再びカマを握りました。

今年のボラバスにも、大勢の方から応募や問合せをいただきました。そして「ボラバスのために」
と寄せられた寄付と参加費によって、無事に運行することができました。ありがとうございました。

東日本大震災義援金に ご協力ありがとうございます

神奈川県共同募金会横須賀市支会では、東日本大震災の義援金を受け付けています。

義援金は、義援金配分割合決定委員会を通じて、災害で家族を亡くされた方や住宅を被災した方を対象に、全額が被災された方々の生活再建のために届けられています。

※義援金の受付期間は平成26年3月31日までとなっています。

募金状況 (8月31日現在)

18,756,559円

ご寄付いただきました

ボランティアバスの運行に際し、
多くの方からご支援をいただきました。

〈ご寄付いただいた方々〉 ※順不同・敬称略
日本クラウンレコード 大江希代子、明珍スイ、
小関敏子、海老澤宗夫、匿名1件

(6月1日～8月31日)

～手作りの温もりと地域の絆をお届けします～

ふれあいお弁当



市社協では、第4次地域福祉活動計画の取り組み目標1「誰もが自分らしく暮らしていくことができるように、多様な支え合いを形にしていこう」に基づき、市から委託を受けて、ふれあいお弁当事業を実施しています。

この事業は、自力で食事の支度が困難な65歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯等に週4回(夕食)のお弁当を届けることで、高齢者に食事を安定的に提供し健康管理を図るとともに、配食協力員による安否確認・見守り活動と地域住民同士が相互交流を図ることを目的としています。



◎市内の社会福祉施設や病院で調理しています

ふれあいお弁当は、管理栄養士がいる社会福祉施設や病院など市内12カ所で調理しています。各施設では、手作りの真心を込めたお弁当を心掛けており、高齢者に必要なカロリー計算と栄養バランスを考えながら、彩りや味付けなどにも配慮したお弁当をお届けしていますので、安心して召し上がっていただけます。



◎地域のボランティアがお届けしています

民生委員児童委員、※社会福祉推進委員、地域のボランティアが、地区社会福祉協議会(地区社協)の配食協力員となり、「お変わりありませんか」の声掛けとともに、ご自宅へお弁当と笑顔をお届けします。顔なじみの配食協力員が様子をお伺いしながらお弁当を手渡しますので、利用者の日々の変化や異常の早期発見につながっています。

これまでに、利用者の体調に異変が見られる場合には、地区社協、区域担当民生委員、町内会等が連携して対応することで、最悪の事態を未然に防ぐことができたケースもあります。

利用者の皆様から

- バランスも良く美味しいので、このお弁当のおかげで白寿までいけそうです
- デザートがついていたり、彩りも良く美味しいので、毎日お弁当が届くのを楽しみにしています。
- 季節の野菜がお弁当に入り、季節の変化を感じて嬉しく思います。
- 暑い日も雨の日も届けてくれてありがとう。今日は誰も来ないと思っていたのに嬉しいわ。

対象者：食事の支度が困難な65歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等

利用料金：1食につき500円

配食日：週4日(夕食のみ) ※土・日・祝日を除く
※お住まいのご住所により、週4回のメニューや配食曜日が異なります。

申込方法：区域担当民生委員を通じてお申込みください。

問合せ先：横須賀市福祉部高齢福祉課 TEL822-8255

横須賀市社会福祉協議会地域福祉課 TEL821-1301

※社会福祉推進委員とは・・・

市社協会長が委嘱する地域福祉の担い手で、市内で1,984人(定数)が活動しています。平成26年4月1日に社会福祉推進委員の一斉改選が行われます。詳しくは次号(1月号)でお知らせします。

住宅ローン・消費者ローン等のご相談・お申込は
湘南しんきん各ローンセンターへ

ローンセンターは休日も営業しております。

■本店ローンセンター 0120-413-357

■上大岡ローンセンター 0120-470-417

SHONAN

湘南信用金庫

ホームページアドレス
<http://www.shinkin.co.jp/shonan>

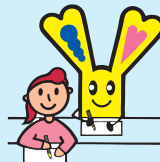
シリーズ 成年後見

第7回 親族が後見人になると…

日常生活の中で、本人が同意した上で、家族が代わって預貯金を払い戻すことがあります。本人の同意がない場合、親子など近い親族間での窃盗や横領等について、刑法には「親族相盗例(しんぞくそうとうれい)」といわれる特例があります。これは窃盗罪や横領罪といった犯罪は成立しているが、『法は家庭に入らず』という考え方にもとづき、刑罰を加えることなく、親族間での解決にゆだねるというものです。

しかし親族であっても被後見人と後見人という立場になると、後見人は被後見人の財産を誠実に管理すべき法律上の義務を負います。それにより被後見人の財産は保護されることから、成年後見制度は、被後見人にとって安心な制度であるといえます。

実際にこのような事件がありました。



事件の内容

●成年被後見人→Aさん ●親族後見人→Bさん

Bさんが成年後見人に選任され、Aさんの財産を管理していましたが、ある日Aさんの預金の一部を引き出して自分の遊び金にしてしまったため、横領罪に問われました。

Bさんは裁判で、「親族間での出来事であり、刑が免除される特例があるのだから、懲役3年の実刑判決を受けるのは不服だ」と主張して、この事件は、最高裁まで争われました。

裁判では…

平成24年10月20日

「家庭裁判所から選任された成年後見人は、被後見人と親族関係にあるかどうかは関係なく、被後見人のために財産を誠実に管理すべき法律上の義務を負っている公的な立場なのだから、親族であれば刑を免除するという特例は適用できない」と最高裁は判断しました。

Bさんは 懲役3年の実刑が確定しました。



■市社協 あんしんセンター(TEL.821-3605)では、成年後見制度の説明・相談等をおこなっています。

※下記の団体でも、相談等をおこなっています。

◆横浜弁護士会 みまもりダイヤル TEL.045(211)7720
◆リーガルサポート(司法書士) TEL.045(663)9180
(月・金:15時~17時、水:10時~12時)

◆かなさぼ(行政書士) TEL.045(222)8628
(月~金:13時~16時)
◆ばあとなあ(社会福祉士) TEL.045(314)5500
(火・木・土:14時~17時)

※お住まいの地区の「地域包括支援センター」でも成年後見制度の相談ができます。

★団体(25団体)
横須賀個人タクシー協同組合、ミース設計連合協同組合、(社)神奈川県建築士事務所協会横須賀支部、西田装美株、(有)山仙商店、ボランティアクラブ華雅会、日洋物産(株)、(株)イノウエ、(大)胡商店、神奈川県美容生活衛生同業組合横須賀中央支部、ボランティアクラブなつめ、洒落井会、神奈川・横須賀プロバスクラブ、(資)石塚商店、横須賀緑化造園協同組合、(株)美装、ハンド・ニットの会、(株)エイワイ、松月製菓(資)、(一財)電力中央研究所、(株)三春商会、横須賀落語愛好会、神奈川県行政書士会横須賀・三浦支部、(株)陽報、(特非)よこすかマンション管理組合ネットワーク

★個人(136名)
平成25年6月1日~8月31日(順不同・敬称略)
海野千秋、明珍ス、山内雪枝、小林英樹、横山公季、須山佳行、須山亜耶、須山莉緒、三小田博文、三小田道子、渡辺孝夫、渡辺睦美、渡辺昌子、手塚武夫、小峯洋子、長瀬清、長瀬キリ、大坪輝子、石渡嘉津子、高橋和代、田中峯子、徳永淑子、齊藤稔、山崎公恵、飯島義信、岡本基明、松木康夫、山口美江子、三留智明、藤掛一子、鶴田健次郎、岡澤明、金子三子、飯野雄彦、富田好昭、明石稔、外岡幸吉、幡野克一、鳴井広、鳴井千恵子、中鉢ナツ、栗原正而、栗原成子、芳賀久雄、松島きみ子、上田滋上、田順子、井出聖子、土肥倫矩子、堀合幸子、喜多十三雄、伊作満、小岩功、山崎晴海、藤井喜美子、井出美佐子、鈴木君代、田嶋敏彦、山岸孝子、渡辺繁子、小林好明、三富錦子、梅田英治、梅田和子、江川正美、江川静子、福島梅子、白井弘子、高橋和雄、秋本龍美、尾崎哲夫、高橋やエ子、笹岡純子、一方井幸子、石塚美代子、長崎利夫、山口浩、山口さくえ、渡辺俊雄、青木秀介、村田英朗、大久保貞子、後藤理、西村忠、篠原久恒、清水勇、北川しん、洲上勝啓、洲上隆子、岸岳、岸美千代、金井利有子、山本明、山本壽美子、井口一彦、岩間道夫、岩間数子、岩間直明、大槻節子、白井幸江、大久保徹、熱田千津子、龍崎信子、浅野みつ江、白石義和、龍崎朝子、中村由記枝、松本幸子、小澤日子、原田圭子、近山通正、早川進、小杉啓恵、白鳥由佳子、本間嘉弘、清水康彦、杉野春美、田中清田中正、永山良文、小泉かよ子、篠原登茂恵、一柳八重、古屋勝昭、二見勝、二見美留里、小野久美江、永嶋多龜江、山下由美子

賛助で参上! 社協活動応援団

※賛助会員はいつでも加入できます。

☆加入方法☆

お名前とご住所を、電話・はがき・FAX・Eメール等でお伝えください。三浦藤沢信用金庫と湘南信用金庫の振込用紙(両信用金庫のご協力により振込手数料が無料になります)を送付させていただきます。

★個人会員 ー 1,000円

★団体会員 ー 5,000円

*会費は年会費となっております。何口でも結構です。

〒238-0041 本町2-1 総合福祉会館2階

横須賀市社会福祉協議会 総務課

TEL(821)1301/FAX(827)0264

Eメール shakyo@wg7.so-net.ne.jp

賛助会員のご紹介

最良の結果を導き出す良きパートナーでありたい。

当社は、ワンストップ・トータルデザインサービス企業として設立いたしました。お客様のニーズに最大限お応えするためにお客様との厚みのあるコミュニケーションを最重要と考え、プロセスひとつひとつに“想い=マインド”を込めています。

企画 デザイン(Graphic・Web) 撮影

eBook 3DCG Movie 印刷

〒239-0807 横須賀市根岸町3-14-25 グレイス5/1F
TEL.046-838-0555(代) FAX.046-834-3331

株式会社 アド・マインド

E-mail:contact@admind.jp URL: http://admind.jp



AD.MIND Co., Ltd.
Design Production Company



知ろう!!
参加しよう!!
つながろう!!

催し盛りだくさん!!



武山地区社会福祉協議会 第11回福祉バザール

武山地区の福祉・地域団体等による地域交流を目的としたバザーです。

物品販売のほか模擬店等もあります。

日時：10月27日(日) 11時～13時30分

場所：JAよこすか葉山本店(フローラ武山)集荷場
(京急バス停「武山住宅」「一騎塚」下車)

その他：入場自由、小雨決行

問合せ：武山地区社会福祉協議会
武山地区ボランティアセンター
TEL/FAX 856-2943

第25回横須賀三浦地区 ふれあい広場

横須賀三浦地区の障害のある方と地域の皆様との交流を目的としたイベントです。

日時：11月9日(土) 10時～14時

場所：総合福祉会館5階～7階
(京急汐入駅またはJR横須賀駅下車徒歩5分)
※お車でのご来場はご遠慮ください。

内容：社会福祉施設等による模擬店、作業所等の作品販売、パソコン写真、ゲームコーナー等の各種アトラクション、ステージイベント

問合せ：ふれあい広場実行委員会事務局
(三浦しらとり園 林)
TEL 848-5255 FAX 848-5258



第38回横須賀三浦地区 障がい児者ふれあい作品展

横須賀三浦地区の障がい児者が制作した作品の展示・販売です。見ていて楽しくなるような作品たちに会いにきませんか。

日時：11月5日(火)～8日(金) 10時～20時(最終日は18時まで)

場所：ショッピングプラザ横須賀2階センターモール
(京急汐入駅またはJR横須賀駅下車徒歩5分)

問合せ：横須賀三浦地区障がい児者ふれあい作品展運営委員会
(三浦しらとり園 林) TEL 848-5255 FAX 848-5258

イタリア映画自主上映会 「むかしMattoの町があった」

精神病院を廃止した
実在の精神科医フラン
コ・バザーリアの苦闘と
患者たちの交流を描い
たイタリアの映画です。



「180人のMattoの会」提供

イタリア精神保健改
革の最初の20年を描い
た3時間余にわたるこの作品は、2010年2月イタリア国営テレビで放送された際、21%の高視聴率を記録しました。

現在、ヨーロッパをはじめ世界各国で自主上映運動が展開されており、このたび横須賀での上映が実現しました。

現在、ヨーロッパをはじめ世界各国で自主上映運動が展開されており、このたび横須賀での上映が実現しました。

日時：10月27日(日) 開場12時

開演12時55分(終了16時40分)

*第1部(96分)、第2部(102分)の間に約20分間休憩があります。

場所：県立保健福祉大学 講堂(京急県立大学駅徒歩5分)

定員：450人(先着順・事前申込み不要)

参加費：1,000円(プログラム代) *当日受付にて

主催：NPO法人横須賀つばさの会

「バザーリア映画を自主上映する180人のMattoの会」

後援：イタリア大使館、横須賀市、横須賀市教育委員会、
横須賀市医師会、横須賀市社会福祉協議会

協力：RAIフィクション、CiaoRagazzi、フランカ&フランコ・
バザーリア記念財団、トリエステ精神保健局

問合せ：NPO法人横須賀つばさの会(水島)
TEL 090-2402-1559

年金無料相談会

毎月第2日曜日 午前10時～午後4時【予約制】

社会保険労務士の先生に年金に関する相談が無料で受けられます。お気軽にご相談ください。

老齢給付

もうすぐ60歳になる方
もうすぐ65歳になる方

遺族給付

一家の大黒柱が
亡くなったとき

障害給付

病気やケガで
障害が残ったとき など

会場：本店営業部中央駅前出張所
2階「お客様相談室」



TRiBank Miura Fujisawa

三浦藤沢信用金庫

予約制



0800-800-1516

業務部(平日9:00～17:00)



フッピーのよこすか探訪：
陸前高田市へ向かうボランティアバスのお見送り(8月23日)

よこすかボランティアセンター

場 所 〒238-0041 横須賀市本町2-1 総合福祉会館4階
開 所 月曜日～金曜日 8時30分～17時15分(土・日曜日と祝日は休み)
電 話 (821) 1303 (825) 0017 / FAX (824) 8110
E-mail shakyo-v@abox22.so-net.ne.jp
ホームページアドレス <http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc/>
※ボランティア等の申込み・問合せ先を明記していないものは、
よこすかボランティアセンターが窓口です。

災害時ボランティアセンター コーディネーター養成講習会

災害時には、被災地が復興するためのボランティアが大きな力となります。このボランティアの力を活かすために災害時ボランティアセンターが設置され、ボランティアと、ボランティア活動が必要とする被災者との間に立って、両者の想いを実現するための調整(コーディネート)を行います。

今回の講座は、このコーディネートに必要な知識や技術を学び、災害時ボランティアセンターについての理解を深めるきっかけとします。

日 時：11月9日(土)、11月16日(土)[全2日] 10時～16時

場 所：西コミュニティセンター

定 員：30人

参 加 費：1,000円(資料・保険代ほか)

対 象 者：災害時に設置されるボランティアセンターの運営に関心がある人、町内の役員、自主防災の組織関係者、地区民児協・地区社協の関係者、町内の住民

主 催：横須賀災害ボランティアネットワーク
(よこすかボランティアセンター事務局)

内 容：1日目 講義：ボラとは、コーディネーターとは、他
2日目 実習：係別、総合シミュレーション 他

申 込 み：氏名・(団体)・連絡先をよこすかボランティアセンターへ



※避難所宿泊体験を平成26年1月に予定しています。
詳細は、次号(1月号)でお知らせします。

平成25年 障害者週間キャンペーン ～YOKOSUKA～

12月3日～9日は、「障害者週間」として、全国各地でさまざまなイベントが開催されます。

横須賀でも、多くのみなさんに「障害」についての理解と認識を深めてもらうため、次の取り組みを行います。多くの皆様方のご来場をお待ちしています！

「あったかハート交流会」～ともに手を取りあって～

障害がある人も無い人も「障害」について一緒に考えてみませんか？

日 時：11月10日(日) 13時30分～15時30分

場 所：総合福祉会館 5階 ホール

内 容：～僕の取り柄は、目が見えなくて、盲導犬がいることです～

★僕の取り柄と盲導犬

栗山 龍太さん&ダイアン君

(ギターを弾きながらお話をされます)

～知的障がい、自閉症を伴う息子と生きる～

★障がいのある子を持つということ

末吉 景子 さん

「障害者週間キャンペーンYOKOSUKA」

■12月2日(月)～12月8日(日) 10時～19時

ダイエーショッパーズプラザ横須賀店2階

〈内容〉＊パネル展示 ＊地域作業所製作品ワゴンセール

■12月8日(日) 13時～15時

ダイエーショッパーズプラザ横須賀店2階センターステージ

〈内容〉＊活動発表会 障害のある方々の活動紹介の場です。



※出演団体を募集しています!!
詳細は、ボランティアセンターへお問い合わせください。

全クラス 試してナットク!

一日無料体験開催中!!

イトマンの楽しい授業を一度体験してみませんか?

電話予約制 お気軽にどうぞ

秋の入会キャンペーン!!

特典 1 入会金5,250円

0円

100%OFF

特典 2 幼児・ジュニアクラス

水着+スクールバッグ
プレゼント!

ベビークラス

ヘルパー+スイミングキャップ
プレゼント!

大人クラス

ゴーグル+スイミングキャップ
プレゼント!

イトマンスイミングスクール横須賀校

横須賀市日の出町3-11

☎046-823-6170

イトマンスイミングスクール

検索

webでは24時間受付しております。





お気軽にご相談下さい

秘密厳守

※場所はいずれも総合福祉会館2階です。相談日が祝日に当たる時はお休みとさせていただきます。／12時～13時はお昼休みとさせていただきます。

生活福祉資金貸付相談

所得の低い世帯、お年寄りや障害のある方の世帯を対象に、安定した生活を送ることができるよう資金貸付の相談を行っています。

【資金について】

- ①お困りの内容によって資金の種類が異なります（一般生活費の貸付けはありません）。
- ②資金の種類によって民生委員による相談援助が行われます。
- ③原則として連帯保証人が必要です（市内在住の方）。

介護相談

福祉機器や介護について介護福祉士がお答えします。

●毎週月～金曜日

10時～16時 福祉機器展示場
電話相談 TEL(824)9436

住宅改造相談

ちよつとした工夫や改造をすることで、暮らしやすい家になることができます。

障害者や高齢者のより住みやすい環境をつくるために、神奈川県建築士事務所協会の建築士が相談に応じます。

【予約制】

●毎月第4水曜日

10時～15時 市社協相談室
予約は TEL(823)0386
神奈川県建築士事務所協会
横須賀支部へ
受付時間 10時30分～17時

第14回

すぐそばで応援してください

全国車椅子マラソンin横須賀

日産カップ追浜チャンピオンシップ2013

全国規模で行われるこの大会には、国際的にもトップクラスの選手が参加予定です。全国でも商店街を走る競技は珍しく、選手は多くの応援の中で競技できることを楽しみに参加しています。

大会中は、日産自動車㈱追浜工場内のテストコース「GRANDRIVE（グランドライブ）」でも応援できます。



競技記録会

日 時：11月30日(土) 11時～14時30分
場 所：日産自動車㈱追浜工場内「GRANDRIVE」
内 容：2.5Km・5Km・10Kmのタイムレース

ロードレース

日 時：12月1日(日) 10時～12時30分
10時～パレード 10:30～競技スタート
場 所：京急追浜駅前→追浜銀座通り商店街→日産自動車㈱追浜工場周辺
内 容：・ハーフマラソンレース(3周=21.0975Km)
・チャレンジレース(1周=7.0325Km)

【日産カップ大会実行委員会】

日産自動車㈱追浜工場、追浜観光協会、追浜連合町内会、追浜地区社会福祉協議会、(協)追浜商盛会、追浜銀座通り商店会

【お問い合わせ】

日産カップ大会実行委員会事務局
日産自動車㈱追浜工場総務課内(担当：田中) TEL 867-5000

ありがとう

社会福祉のために、温かい寄付がありました。(敬称略)
平成25年6月1日～8月31日

(社) スコーレ家庭教育振興協会、船橋珠枝、横山公季、
(株) 根岸工務店、いきいき麻雀クラブ、栗田敏彦、亜留辺ファンクラブ 横須賀、小関敏子、
(株) 根岸工務店 賢友会
三春町地区ボランティアセン

ター、勝浦敏子、長谷川実和佳、タットン会、大坪喜美子、横須賀美術協会、光美会、徳嶺啓子、井出聖子、萩原優子、小泉美里、佐野香代子、手話サークル、逸見、港南地区ボランティアセンター、衣笠地区ボランティアセンター、本町デイサービスセンター、あじさい指の会、柳田和代、堀千恵子、匿名
寄付金 15件 三三五、一六七円
物品 21件

あとがき

「少子高齢化」という文言を抵抗なく使うようになってきたのもつかの間、私の住む小さな町では少子高齢化どころか、家屋が一軒また一軒といつの間になくなったり、小さな駐車場に変わってしまうという現状に「人口減少」という文言がとって代わるうとしていきます。

我が家が入る「隣組」の軒数が増え続け、二つに分けるために旧住民と新住民をどのように分けるか当時の組長さんが悩んでいた事が懐かしく思い出されます。

あれから四十年後、町内会が「隣組」数の廃番と集合を検討するようになった今、地域のあちらこちらから「地域活性化と復活」を賭けて立ち上がるようにする人々が現れて来ました。

縄文の昔から、素晴らしい自

然環境のもとに集落を編成し脈々と泣き笑いの営みを続けてきた、この町の住民の底力を見せる出番がやって来たようです。

その昔、漁港として栄え多くの人が出入りし賑わったこの地に、点在する小さな駐車場はふさわしくありません。「お祭り」を担当する人、「集客」を企画する人、「コソコソ」と「地域清掃」のボランティアをやる人、「野菜」を作る人・売る人、「魚」を獲る人・売る人など、この地に住む人々の力が発揮できるかどうかが試練の時を迎え「やるしかねえべ」と老いも若きも少しずつ動き始めた町。

山椒は小粒でもピリリと辛い強いリーダーがいてこそなし得る「地域活性化と復活」のシナリオ。地域住民の一人として、今しっかりと受け止めたいと思っています。

(Y)